



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月13日

上場会社名 守谷輸送機工業株式会社
コード番号 6226 URL <https://moriya-elevator.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 2023年2月14日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 守谷 貞夫
(氏名) 土屋 寛
TEL 045-785-3111
配当支払開始予定日 未定

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	10,969	10.8	489	60.1	467	62.8	308	61.2
2022年3月期第3四半期	9,896		1,227		1,257		795	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	17.81	17.58
2022年3月期第3四半期	52.34	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	12,338		7,192			58.3
2022年3月期	12,022		7,253			60.3

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 7,192百万円 2022年3月期 7,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		15.00	15.00
2023年3月期		7.50			
2023年3月期(予想)				7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,700	13.1	508	72.1	448	75.6	282	75.4	16.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	17,333,000 株	2022年3月期	17,333,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	37 株	2022年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	17,332,997 株	2022年3月期3Q	15,203,000 株

(注) 2022年1月4日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施いたしました。発行済株式数(普通株式)は、前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の緩和により、経済社会活動の正常化がすすみ、個人消費を中心に持ち直しの動きがみられるものの、世界的な資源・エネルギー価格の上昇やインフレの昂進、急激な為替相場の変動等により、物価上昇圧力が高まるなど、その先行きは依然として不透明な状況が続いております。

主として荷物用エレベーターの製造・販売、据付及び保守・修理を展開する当社においても、鋼材をはじめとする資材価格の高止まりや円安による輸入資材価格の上昇が、足下の収益を押し下げております。

その一方、eコマース市場の拡大、物流施設の大型化、生産拠点の国内回帰という市場環境の中、受注状況は堅調であり、「安全」「堅牢」「融通性」という基本コンセプトを守りながら、顧客に提供する価値の最大化を図っております。一部資材の国内調達への切り替えや、内製化によるコストメリットの追求を図るとともに、新規受注時における価格転嫁を進めております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は10,969百万円(前年同四半期比10.8%増)、うち「エレベーター(船舶用を除く)」の売上は5,968百万円、「船舶用エレベーター」の売上は362百万円、「保守・修理」の売上は4,638百万円となり、営業利益は489百万円(前年同四半期比60.1%減)、経常利益は467百万円(前年同四半期比62.8%減)、四半期純利益は308百万円(前年同四半期比61.2%減)となりました。

なお、当第3四半期会計期間末における受注残高は14,859百万円(前事業年度末は11,483百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、12,338百万円(前事業年度末12,022百万円)となり、316百万円増加しました。これは主に、原材料及び貯蔵品の増加524百万円、(仮称)鳥浜工場の着工等による有形固定資産その他(純額)の増加365百万円、仕掛品の増加236百万円、現金及び預金の減少700百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少283百万円によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、5,146百万円(前事業年度末4,768百万円)となり、377百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加929百万円、未払法人税等の減少320百万円、前受金の減少177百万円によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、7,192百万円(前事業年度末7,253百万円)となり、61百万円減少しました。これは主に、配当金の支払389百万円、四半期純利益の計上による増加308百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年10月18日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,949,479	3,248,532
受取手形、売掛金及び契約資産	3,631,905	3,348,828
仕掛品	804,778	1,041,597
原材料及び貯蔵品	458,613	983,107
その他	24,580	68,529
流動資産合計	8,869,358	8,690,597
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	369,169	388,585
土地	1,204,447	1,204,447
その他(純額)	219,262	584,680
有形固定資産合計	1,792,879	2,177,714
無形固定資産	148,768	146,019
投資その他の資産	1,211,367	1,324,192
固定資産合計	3,153,016	3,647,927
資産合計	12,022,374	12,338,524

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,368,516	3,297,796
1年内返済予定の長期借入金	116,284	40,646
未払法人税等	401,773	81,526
前受金	276,905	99,041
工事損失引当金	231,729	238,159
製品保証引当金	12,589	20,674
その他	616,216	588,578
流動負債合計	4,024,016	4,366,422
固定負債		
長期借入金	13,316	—
退職給付引当金	128,127	140,896
役員退職慰労引当金	528,317	557,182
資産除去債務	34,151	34,289
その他	41,031	47,480
固定負債合計	744,945	779,848
負債合計	4,768,961	5,146,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,058,533	1,058,533
資本剰余金	910,708	910,708
利益剰余金	5,240,134	5,158,882
自己株式	—	△24
株主資本合計	7,209,375	7,128,098
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44,038	64,154
評価・換算差額等合計	44,038	64,154
純資産合計	7,253,413	7,192,252
負債純資産合計	12,022,374	12,338,524

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	9,896,423	10,969,231
売上原価	7,491,127	9,201,969
売上総利益	2,405,295	1,767,262
販売費及び一般管理費	1,178,177	1,277,379
営業利益	1,227,118	489,882
営業外収益		
受取利息	4	15
受取配当金	6,460	7,637
不動産賃貸料	10,329	2,609
作業くず売却益	22,082	39,299
受取保険金	12,171	—
その他	6,950	5,228
営業外収益合計	57,999	54,791
営業外費用		
支払利息	548	205
債権売却損	12,305	13,356
為替差損	12,925	63,323
その他	1,969	0
営業外費用合計	27,748	76,885
経常利益	1,257,368	467,788
税引前四半期純利益	1,257,368	467,788
法人税等	461,705	159,048
四半期純利益	795,663	308,740

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

当社は、「エレベーター事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

生産・販売実績

(単位：百万円、%)

売上種類の名称	当第3四半期		前事業年度	
	生産高・販売高	前年同期比	生産高・販売高	前期比
エレベーター (船舶用を除く)	5,958	118.5	6,999	98.5
船舶用エレベーター	375	107.7	455	77.1
保守・修理	4,638	103.8	6,199	106.5
計	10,971	111.5	13,654	101.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 「船舶用エレベーター」には部品の販売額が、「保守・修理」には保守点検業務にかかる受託金額がそれぞれ含まれております。

受注実績

(単位：百万円、%)

売上種類の名称	当第3四半期			前事業年度			
	受注高	受注残高	前期末比	受注高	前期比	受注残高	前期末比
エレベーター (船舶用を除く)	8,325	12,301	123.8	9,216	132.0	9,933	128.7
船舶用エレベーター	687	1,028	143.6	601	127.8	716	125.5
保守・修理	2,256	1,529	183.7	2,576	121.9	832	136.6
計	11,269	14,859	129.4	12,394	129.6	11,483	129.1

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 「保守・修理」については、修理・改修業務にかかる受注高及び受注残高を記載しており、保守契約に基づく保守点検業務については、受注から売上までの期間が短いため、受注高及び受注残高に含めておりません。

3. 上記金額のうち外貨建については、㈱三菱UFJ銀行が公表した各期末日におけるTTM(公表仲値)によって円換算しております。